

令和6年度 「1校1取組」運動を位置付けた体力向上プラン【報告書】

学校名〔 広川町立下広川小学校 〕

視点2 目標と成果指標

《目標》運動が好きになり、積極的につながりあって運動をする子供の育成

令和7年度の体力・運動能力調査の総合評価「D」「E」を合わせた割合を減らす：10%未満

| | 「運動に対する意識」に関する成果指標 | 「運動習慣」に関する成果指標 |
|------|---|---|
| 評価方法 | 学期末の児童アンケート | 学期末の児童アンケート |
| 成果指標 | 運動が「好き」「やや好き」を合わせた割合 95%以上 | 「週3日以上または、1～2日運動をする」児童の割合 80%以上 |
| 評価 | 1回目・昨年度末のアンケートより（90%） 2回目・新体力テストの結果より（95%） | 1回目・昨年度末のアンケートより（80%） 2回目・新体力テストの結果より（90%） |

視点4 「1校1取組」運動名

運動名： やってみたい！みんながつながる体育授業

視点3 今年度の重点的取組と指標

| 体育・保健体育科授業における取組 | 取組指標 | 体育・保健体育科授業以外の取組 | 取組指標 |
|---|--------------------|---|------------------|
| <ul style="list-style-type: none"> ・体育科の授業づくりに関する校内研修会の実施。 ・運動が苦手な子供が楽しく取り組むことができるように、興味関心を高め主体的な学びを生み出す教材の工夫。 ・準備運動に、筋力・柔軟性を高める運動の導入。（OJT研修の実施） | 年間 2回 | ・各学級において、係の子供主体で「みんなで遊ぶ日」を設定し、昼休みの室内屋外での運動・遊びを行う。 | 毎週 3回 |
| | 全学年・ 全単元 実施 | ・体力アップシートを活用し、目標達成に向け取り組む。（外遊びの掲示物等も活用） | 活用率 100% |
| | | ・下広オリンピックを全校で取り組み、練習に取り組む様子を評価するとともに、記録を毎年更新し、掲示する。 | 実施学級 100% |

視点1 子供の実態分析

体力・運動能力に関する課題

- ・体力・運動能力調査の体力合計点総合評価（全校児童割合）の「D」「E」が20%いる。
- ・瞬発系・筋持久系運動種目「50m走」「反復横跳び」を、全国平均水準を上回るようにする。

| 「運動に対する意識」に関する課題 | 「運動習慣」に関する課題 |
|--|---|
| 運動が「好き」60%、「やや好き」35%、「やや嫌い」4%、「嫌い」1%→運動「嫌い」を0に減らす。 | 「週3日以上運動をする」65%、「週1～2日」25%、「月に1～3日」10%、「しない」0% →「週3日以上運動をする」を増やす。 |

《要因》（体育・保健体育科の授業や授業以外の取組から）

- ・様々な感染症における活動の自粛・制限によって体力の低下が見られたが、多様な遊び方の提案や体を動かす習慣作りや授業作りを行ったことで、少しずつ体力の向上が見られてきている。
 - ・体力を向上させる専門的な指導方法（運動のメカニクス）がわからない。（教師のOJTが必要）
- ※ 成功体験や楽しさを味わわせることが不十分である。授業で教師と児童の意識改革をしていく。

令和6年度「1校1取組」運動を位置付けた体力向上プラン【計画書】

学校名〔 広川町立下広川小学校 〕

視点2 目標と成果指標

《目標》運動が好きになり、運動を通して積極的につながり合う子供の育成

| 令和7年度の体力・運動能力調査の総合評価「D」「E」を合わせた割合を減らす：10%未満 | | |
|---|--|--|
| | 「運動に対する意識」に関する成果指標 | 「運動習慣」に関する成果指標 |
| 評価方法 | 学期末の児童アンケート | 学期末の児童アンケート |
| 成果指標 | 運動が「好き」「やや好き」を合わせた割合 95%以上、100%を目指す。 | 「週3日以上運動をする」児童の割合 90%以上を目指す。 |
| 評価 | 1回目・昨年度末のアンケートより（95%） 2回目・新体力テストの結果より（ ）% | 1回目・昨年度末のアンケートより（90%） 2回目・新体力テストの結果より（ ）% |

視点4 「1校1取組」運動名

運動名：いっしょに！「うまなって」運動（「う」うんてい「ま」マット「な」縄跳び「て」鉄棒）

視点3 今年度の重点的取組と指標

| 体育・保健体育科授業における取組 | 取組指標 | 体育・保健体育科授業以外の取組 | 取組指標 |
|--|--|---|---|
| <ul style="list-style-type: none"> 体育科の授業づくりに関する校内研修会の実施。 全ての子どもがつながり合い、主体的に活動に取り組み、運動の興味関心を大切にしたい学びを生み出す授業展開。 準備運動にて、筋力・柔軟性を高める運動を取り入れる。（OJT研修の実施） | 年間2回 （4月・夏休み） 全学年全単元実施 | <ul style="list-style-type: none"> 新体力テストと下広オリンピックに向けて、全校で「運動や遊びをする時間」を設定し、休み時間で筋力や柔軟性を高める運動や遊びを行う。 体力アップシートを活用し、個人と学級合計の目標達成に向け取り組む（小中のみ） スポコン広場に年間を通じて取り組み、随時更新し、掲示する（小のみ） | 実施学級 100% 活用率 100% 登録学級 100% |

視点1 子供の実態分析

体力・運動能力に関する課題

- 体力・運動能力調査の体力合計点総合評価（全校児童の割合）の「D」「E」合計が20%いる。
- 「筋力」「柔軟性」に関連する運動種目を、全国平均水準を上回るようにする。

| 「運動に対する意識」に関する課題 | 「運動習慣」に関する課題 |
|--|---|
| 運動が「好き」70%、「やや好き」25%、「やや嫌い」5%、「嫌い」0% ※運動「やや嫌い」を0に減らす。 | 「週3日以上運動をする」70%、「週1～2日」20%、「月に1～3日」10%、「しない」0% →「週3日以上運動をする」を5%以上増やす |

《要因》（体育・保健体育科の授業や授業以外の取組から）

- 「成果1」新型コロナウイルス感染症が5類に分類され、規制が緩和されてきたことで、子ども達が遊びを通して体を動かす機会が増えた。
- 「成果2」子ども達が主体的に活動し、つながり合いながら運動のよさを味わう授業作りを行ったことで少しずつ協働性や体力の向上が見られてきている。

「課題1」体力を向上させる専門的な運動の指導方法や授業展開の理解（教師のOJT・TTが必要）

「課題2」全職員が同じ水準で子ども自身の思いや考えが見とれる学習展開の構築（教師の意識）

「課題3」運動や遊びを通して積極的につながり合いながら自己の課題を解決（子ども達の意識）

報告書の記入【例】

令和4年度 「1校1取組」運動を位置付けた体力向上プラン【報告書】

学校名〔 広川町立下広川小学校 〕

・評価及び取組（黄色）欄以外については、計画書の内容と同じでも良い

視点2 目標と成果指標

《目標》運動が好きになり、積極的に運動をする子供の育成

令和5年度の体力・運動能力調査の総合評価「D」「E」を合わせた割合を減らす：10%未満

| | 「運動に対する意識」に関する成果指標 | 「運動習慣」に関する成果指標 |
|------|--|--|
| 評価方法 | 学期末の児童アンケート | 学期末の児童アンケート |
| 成果指標 | 運動が「好き」「やや好き」を合わせた割合 95%以上 | 「週3日以上運動をする」児童の割合 50%以上 |
| 評価 | 1回目・7月（90%） 2回目・12月（95%） 3回目・2月（95%） | 1回目・7月（45%） 2回目・12月（55%） 3回目・2月（65%） |

・評価（黄色）欄について、必ず数値を用いて示すこと

視点4 「1校1取組」運動名

運動名：思いっきり汗をかく楽しい体育授業

視点3 今年度の重点的取組と指標

計画書と同じ内容でも良いが、評価結果をもとに修正・変更しても良い

| 体育・保健体育科授業における取組 | 取組指標 | 体育・保健体育科授業以外の取組 | 取組指標 |
|--|--------------------|---|---------------------|
| ・運動が苦手な子供が楽しく取り組むことができるように、興味関心を高め主体的な学びを生み出す教材の工夫 ・毎時間、仲間と共に「挑む活動」を位置付ける | 全学年・ 全単元 実施 | ・校舎内散歩タイムや室内で行うストレッチタイムを実施する | 毎週 3回 |
| | 毎 時間 実施 | ・体力アップシートを活用し、個人と学級合計の目標達成に向け取り組む（小中のみ） | 活用率 100% |
| | | ・スポコン広場に年間を通じて取り組み、随時更新し、掲示する（小のみ） | 登録学級 100% |

視点1 子供の実態分析

体力・運動能力に関する課題

体力・運動能力調査の体力合計点総合評価（全校児童の割合）：「A」15%、「B」30%、「C」35%、「D」15%、「E」5%→「D」「E」を減らす

| 「運動に対する意識」に関する課題 | 「運動習慣」に関する課題 |
|--|--|
| 運動が「好き」55%、「やや好き」30%、「やや嫌い」10%、「嫌い」5%→運動「嫌い」を減らす | 「週3日以上運動をする」35%、「週1～2日」45%、「月に1～3日」10%、「しない」10%→「週3日以上運動をする」を増やす |

《要因》（体育・保健体育科の授業や授業以外の取組から）

- ・体育・保健体育科授業において運動の楽しさを味わわせる指導が不十分
- ・授業づくりにおいて、それぞれの運動のもつ特性や魅力、指導内容が不明確
- ・運動に意欲的でない児童生徒に対して、仲間と共に運動する楽しさを味わう授業以外の取組が不十分